

JAグループ栃木 GAP推進大会を開催

ーより良い農業の実現に向けてー

より良い本県農業の実現に向けてGAPへの意識啓発を図るため、JAグループ栃木は9月25日（月）、GAP推進大会を開催しました。JAからは常勤役員・幹部職員のほか、JA生産部会代表者、その他県や関係機関・団体等の関係者計250名が参加しました。

大会ではまず、猪瀬専務理事が情勢報告を行いました。GAPへの機運が急速に高まっている直近の情勢を受け、本県JAグループにおいても、農産物の安全・安心対策の強化や今後の農産物輸出拡大、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会への食材提供を見据え、GAPの取り組み精度の向上が不可欠であること、また、将来的にはグローバルGAPやアジアGAP等の取得を目指すものの、当面は2020年東京大会を意識し、県GAP規範レベルの取り組みを進めるとした「GAP推進方針」を策定したこと、等について報告しました。



【あいさつを行う高橋会長】



【情勢報告を行う猪瀬専務】

次に、安心農業株式会社の藤井淳生氏を講師に、「GAPの活用～社会情勢への適応と持続可能な農場へ～」と題した講演を受けました。藤井氏は、「GAPは「道具」であり、使い方は「使う人」次第であること」、「まずは栃木県GAP規範で自己点検から始めよう」と促しました。その上で、「「出来ている／いない」ことを見つけ、自ら「改善」し、「良い農場」に近づこう」、「「出来ていることを増やし、次なる目標へ進もう」と呼びかけました。



【講演する藤井氏】



【大会の様子】

先進事例報告では、熊本県のJAやつしろの富永隆裕氏から、「JAやつしろにおけるGAPの取り組み」について報告を受けました。富永氏は「JA生産部会が目指すものは団体認証であり、「底上げ」の姿勢が必要であること」、さらにGAPの導入効果として、「栽培データが蓄積され、作柄の極端なブレが解消されたこと」「在庫管理の適正化とともに、食品安全と従業員の適正管理が図られたこと」等を報告しました。

また、JA足利の岩下哲也氏からは、「JA足利トマト部におけるGAPの取り組み」として、「GAPチェックシートの各項目を簡潔にしたことで、誰もがGAPの取り組みを理解できるようになったこと」「生産者に「農産物の栽培」だけでなく、「食品の生産」という意識が芽生えてきたこと」等の報告がありました。



【JAやつしろ 富永氏】

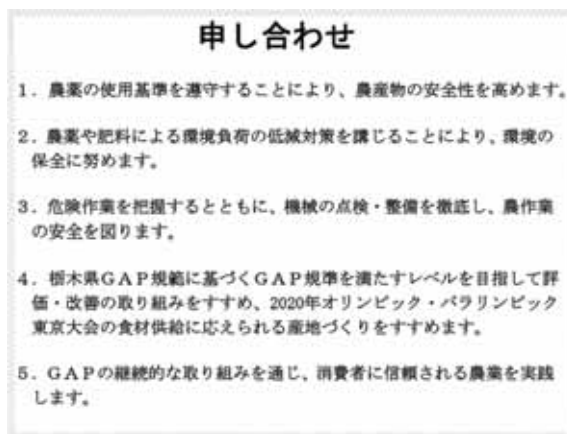


【JA足利 岩下氏】

大会の最後には、JAうつのみや梨専門部の山口幸夫部長より、申合わせの発表を行い、参加者全員で内容を確認しました。



【JAうつのみや梨専門部 山口部長】



【申し合わせ (抜粋)】

参加者は、大会を通じて、GAPをめぐる情勢を十分に理解し、GAP推進への意識が高まったことと思います。

本会としては今後、「GAP推進方針」に基づき、JA営農指導員向け研修会の開催や啓発資料の作成・配布、GAP推進に係る費用助成等を通じて、JAの取り組みを支援していくこととします。

3つのC (① **C**hange (変革) ・ ② **C**hallenge (挑戦) ・ ③ **C**reate (創造)) で販売品取扱高目標の達成!

第3回農業基礎研修会(病害虫・雑草の基礎)を開催

—営農の基礎知識を身につけよう—

担い手サポートセンターは、8月29日(火)に第3回農業基礎研修会を開催し、新規就農者約40名が参加しました。

第3回となる今回は「病害虫・雑草の基礎」をテーマに、全農とちぎ生産振興課の合田健二氏を講師にお招きしました。

合田氏は病害虫や雑草にかかる基礎知識について解説を行い、主要な病害虫・雑草について、発生事例を交えながら防除のポイントを挙げました。また、本会担当者が、生産履歴記帳運動と農業生産工程管理(GAP)の取り組みについて説明し、肥料や農薬の使用状況をきちんと記録することの重要性を呼び掛けました。

第4回は「農業簿記・税務の基礎」をテーマに、10月26日(木)、11月28日(火)の2日間で開催します。青色申告制度の概要や農業簿記理論について研修を行いますので、年末の決算処理に向けて基礎知識を学んでいただければと思います。



【話を聞く受講者】



【事例を交えながら説明する合田氏】

女性理事交流会を開催

県内JA女性理事の相互研さんを目的に9月19日(火)、今年度第1回の女性理事交流会を開催しました。JAの女性理事25名のうち23名が出席し、男女共同参画やJA事業に対する女性の視点

点による提言のあり方などについて研修し、意見交換を行いました。

本会の大島副会長は「情報交換により各JAの取り組みを参考にして、それぞれのJAで女性運営参画を進める方向を見いだしてほしい」とあいさつしました。



【あいさつを行う大島副会長】

研修では、栃木県農政部経営技術課の大野恭子副主幹が、男女共同参画について講演しました。「とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」の概要と農林業センサスからみた女性の経営参画の状況について説明し、「人口減少社会における人手確保のためにも、女性が働きやすい環境をつくることはますます重要になってくる」と話しました。

また、女性の運営参画を進めることや、女性理事としての活動の中で感じる点について意見交換を行い、出席者からは「女性であることを意識し過ぎず、一人の理事として地域の声をJA運営に反映できるよう活動することが大切」「総代会資料の読み方について勉強会を行うなど、積極的に知識を向上させている」「女性総代を増やすために、女性理事が総代の選考に積極的にかかわっていく必要がある」など活発な意見交換が行われました。

本会は、今後も12月に第2回の女性理事交流会を開催するなど、女性の運営参画を拡大する取り組みを進めていきます。



【講演する大野副主幹】



【意見交換を行う女性理事】

J A栃木青年部連盟ポリシーブック研修会を開催

ーポリシーブックの有効活用に向けてー

J A栃木青年部連盟は、9月4日（月）にポリシーブック研修会を開催し、県内盟友を中心とした25名の参加者で意見交換を行いました。

ポリシーブックは「J A青年部の政策・方針集」にあたるもので、盟友一人ひとりが営農や地域活動をしていくうえで抱えている課題や疑問点について、盟友同士で解決策を検討しとりまとめています。しかし、せっかくポリシーブックを作成しても、なかなかその後の行動に活かすことができないという課題がありました。



【行動計画の発表を行う参加者】

そこで今回の研修会では、「課題解決のため、具体的にどのような取組が必要かを議論し、計画を立てる」ことを目的とし、各班で5W1Hまで落とし込んだ詳細な行動計画の作成を行いました。

事前に提出いただいた単組版ポリシーブックから共通課題を抜き出して一覧にし、班ごとに「地域住民への農業理解促進」「後継者不足」といった課題をひとつ選択し、課題解決に向けてどのような取組を行うかを検討しました。各班で活発な議論が行われ、「消費者を招いた料理教室の開催」「先進農家での農業体験の実施」などの意見が出されました。

J A栃木青年部連盟ではポリシーブックの有効活用を目指しています。今回研修したことを参考に、盟友同士で話し合い、単組で課題解決に向けた具体的な行動に取り組むことを期待します。



【選択した課題について意見交換が行われた】

JA農産物直売所運営改善研修会を開催

－JA農産物直売所の運営戦略について学ぶ－

9月5日(火)、JA農産物直売所運営改善研修会を開催し、県内JA直売所店長や担当者など約30名が参加しました。

研修では、神奈川県JAはだの「じばさんず」の安居院賢治店長を招き、JA農産物直売所の運営戦略をテーマに講演していただきました。安居院店長は、「消費者が魅力に感じること」や「直売所に求められること」について、実際に取り組んでいる事例を紹介するとともに、生産者の思い(安全・安心対策、商品の鮮度・物語等)を消費者に伝えることが重要であると話しました。

その中で「POP」は、生産者の思いを消費者に伝えるための大切なPR手段であると強調しました。また、試食やレシピの配布、体験により「本物の味」を伝える工夫も必要であると説明しました。

中央会からは、POPコンテストの最優秀賞・優秀賞作品の紹介をしながら、魅力あるPOPについて説明するとともに、積極的な活用を呼びかけました。また、昨今、JA農産物直売所で課題となっているクレーム処理対応について、ポイントとなる「素早い初動対応」「真摯な対応」「クレーム内容の共有」を説明しました。



【研修会の様子】

はだのじばさんずの販売戦略

1. 消費者ニーズを知る。
2. 生産者の思いを伝える。
3. 食の提案
4. オンリー・ワンをすること。
5. 掲示・POPの活用
6. イベントの開催

今後は、下期にJA農産物直売所優良事例集の作成、直売所診断や直売所担当者会議等の実施を予定しており、直売所事業の運営支援の取り組み強化を図ることとしています。

3つのC (① チェンジ C hange (変革)・② チャレンジ C hallenge (挑戦)・③ クリエイト C reate (創造)) で販売品取扱高目標の達成!

J A 農産物直売所 P O P コンテスト表彰式を開催

J A 農産物直売所の販売力強化の一環で、販促ツールとしての P O P の活用推進を目的に、J A 農産物直売所 P O P コンテストを初めて開催しました。8月30日(水)の審査会で消費者団体の代表者の方などに審査いただき、下記の受賞者を決定しました。9月5日(火)に表彰式を開き、最優秀賞・優秀賞を受賞した J A 担当者・生産者を表彰しました。

今後も P O P の活用を通して、それぞれの農産物直売所の売り上げアップにつなげていただきたいと思います。

<審査結果>

部 門	賞	J A 名	氏 名
課題商品PR部門	最優秀賞	J A おやま	信末 杏子
	優秀賞	J A うつのみや	大塚 博美
		J A しもつけ	永島 恵子
		J A しおのや	五十嵐昌子
安全・安心PR部門	最優秀賞	J A うつのみや	永岡 幸子
	優秀賞	J A うつのみや	飯野 守
		J A 足利	中島 一美
		J A しおのや	星野 仁美
ディスプレイ部門	最優秀賞	J A うつのみや	大塚 博美
	優秀賞	J A うつのみや	飯野 守
		J A しもつけ	新井 康浩
		J A しもつけ	石山 好一

※ 最優秀賞・優秀賞のみ記載

《J A 農産物直売所 P O P コンテスト 最優秀賞作品》

1. 課題商品PR部門



< J A おやま 信末杏子 >

【審査委員からの講評】

- 多色を使わず(4色)、商品名・価格を大きく統一したフォントで書いているためわかりやすい。
- トマト、出荷者のイラストが親しみやすいものになっている。特に、出荷者の表情がよく、つい手に取りたくなるものになっている。
- イラストがはみ出すようにつけられているなど配置の工夫が見られる。

2. 安全・安心PR部門

<JAうつのみや 永岡幸子>



【審査委員からの講評】

- 「安全・安心」を目立つ色で大きく表現しておりわかりやすい。
- 生産履歴の意味をわかりやすく説明している。
- 文字だけでなくシンプルなイラストも入れて工夫している。

3. ディスプレイ部門

<JAうつのみや 大塚博美>



【審査委員からの講評】

- 箱とバラの2種類の価格を表示するとともに、目立つ配色で読みやすい大きさである。
- ディスプレイは、空間を上手に活用しており、商品を中心に上も下も華やかに演出している。旬が一目でわかる仕上がりとなっている。

九州北部豪雨にかかる募金活動の取り組み結果について

平成29年九州北部豪雨については、関連施設の復旧と生産再開に向けて支援するため、JAグループ栃木の役職員等による募金活動を行った結果、次のとおり募金がまとまりましたので報告します。お忙しい中ご協力いただき大変ありがとうございました。

なお、寄せられました募金は、福岡県および大分県が公表している農業関係の被害額に応じ次のとおり9月11(日)に送金いたしました。

口 座 名	送 金 額
〈福岡県〉 JA福岡中央会義援金口	4,475,421円
〈大分県〉 JAグループ大分集中豪雨被害等復興支援募金	1,740,442円

〈募金一覧表〉

組 織 名	募 金 額
JAうつのみや	444,459
JAかみつが	418,000
JAはが野	632,000
JAしもつけ	418,496
JAおやま	610,414
JA佐野	421,993
JA足利	300,069
JALおのや	298,500
JAなすの	321,700
JAなす南	300,000
酪農とちぎ	124,000
栃木県酪農業協同組合	101,000
栃木県開拓農業協同組合	39,000
JA栃木中央会	225,500
農林中央金庫宇都宮支店	94,000
JA全農とちぎ	438,505
JA共済連栃木	193,000
上都賀厚生連	89,547
佐野厚生連	77,000
栃木県農業信用基金協会	16,000
JA栃木女性会	31,102
JA栃木青年部連盟	200,600
(株)農協観光 栃木支店	8,000
JAエルサポート	114,978
JAグリーンとちぎ	267,000
ジェイエイ栃木ライフ	31,000
合 計	6,215,863

教育センターレポート

—入職員フォロー研修会を開催—

9月5日(火)～6日(水)(第1班)、14日(木)～15日(金)(第2班)、21日(木)～22日(金)(第3班)、29年度新採用職員を対象とした新入職員フォロー研修会を開催し、JA・中央会・酪農とちぎ・栃酪・エルサポート・米麦改良協会の15組織から131名の職員が受講しました。

この研修は、就職後の約半年間を振り返り、仕事の進め方や上司とのコミュニケーションを再確認するとともに、問題解決の基本を理解することを目的に実施しています。

研修では、冒頭にJAはが野 黒崎宣芳組合長から「新入職員に期待すること」と題し講話をいただきました。続いて、①職場活動の振り返り、②問題解決の基本について学び、③ケースを活用した問題解決に取り組み、グループ発表を行いました。

最後に、研修で学んだ問題解決の手順に沿って、来年2月末の「あるべき姿」を自ら設定し、それに近づくための具体的な実行計画を作成しました。

受講者からは、「他JA・他部署の方と話すことで良い刺激となった」「自分自身を振り返ることができた」「今後の目標・課題が明確となったので、これから達成できるように努力したい」などの感想が聞かれました。

この後の新入職員を対象とした研修として、来年1月または2月に地区別交流会(県中・県南・県北地区)を予定しています。



【ケース討議の内容を発表する研修生】

—県北3JA中堅職員ステップアップ研修会を開催—

9月6日(水)、12日(火)に県北3JA中堅職員ステップアップ研修会をJAなす南で開催し、JAしおのや・なすの・なす南の中堅職員26名が参加しました。

この研修会は、中堅職員として組合員・利用者の視点に立ち、自分の仕事や仕事の進め方等の問題点について考え、改善提案できる能力を養うことを目的としています。JAの自己改革を見据え、中堅職員のレベルアップと事業の改善をはかるために、今年度から中央会がJAに出向いて実施している研修です。

研修では、1日目に「ロジカルシンキング」、「マーケティング」を学びました。「ロジカルシンキング」ではロジックツリーの作成等により自分の考えを論理立てて整理し、相手に分かりやすく伝える方法を学びました。「マーケティング」では組合員・利用者の視点に立ち、JAの商品・サービス提供のあり方について考えました。

2日目は「実践応用研修」を実施し、「職場における業務改善」をテーマにJAの部門ごとに分かれグループ研究を行いました。グループ発表では、部門関連の連携や、部署内における情報共有、窓口における組合員対応の仕方等について改善提案が出されました。

参加者からは、「これから論理的思考を活用し物事を振り下げて考えていきたい」、「職場の問題に関心を持ち改善を図っていきたい」などの感想が聞かれました。

今回の研修で学んだことが生かされ、各職場において業務の改善活動がすすむことを期待いたします。



【グループ研究に取り組む受講生】

J A教育センター主催の10月・11月の研修会等の開催予定は下記のとおりです。

日 程	研 修 会 名	対 象 者
10月3日	第9回JA中核人材育成研修⑳	将来の幹部職員候補者
10月4日	上級管理者研修会①	部長職、課長職(同等職位の者を含む)
10月5日	資格認証・上級研修会③	上級 受験予定者
10月11日	上級管理者研修会②	部長職、課長職(同等職位の者を含む)
10月13日	資格認証・上級研修会③	上級 受験予定者
10月16日～17日	職員資格認証試験(特級)	特級 受験者
10月18日	上級管理者研修会③	部長職、課長職(同等職位の者を含む)
10月19日～20日	第9回JA中核人材育成研修㉑、㉒	将来の幹部職員候補者
10月21日	職員資格認証試験(初級)	初級 受験者
10月24日～25日	OJT研修会	課長職、係長職(同等職位の者を含む)
10月26日～27日	第9回JA中核人材育成研修㉓、㉔	将来の幹部職員候補者
11月7日～8日	JA中核人材育成フォロー研修会	第7回、第8回JA中核人材育成研修会修了者
11月10日	第9回JA中核人材育成研修㉕	将来の幹部職員候補者
11月11日	職員資格認証試験(中級)	中級 受験者
11月14日	内部監査士受験対策研修会①	内部監査士検定試験 受験者
11月15日～16日	中堅職員研修会(第1班)	勤続5年以上で35歳以下の職員
11月20日	内部監査士受験対策研修会②	内部監査士検定試験 受験者
11月21日～22日	中堅職員研修会(第2班)	勤続5年以上で35歳以下の職員
11月25日	職員資格認証試験(上級)	上級 受験者
11月29日	平成30年度JAグループ栃木職員 統一採用試験(短大・大卒Ⅱ期)	平成30年3月短大・大学卒業見込者または卒業者

※受講申込は、J A栃木教育センターまで。

(TEL : 028-616-8560 FAX : 028-616-8594 E-mail : kyouiku@tcchu-ja.or.jp)



消費者へ農業理解促進の一環として、下野新聞に毎月1回「ふおーyou とちぎJAプラザ」を掲載しています。

ここで、アンケートを実施し、紙面に対する感想が寄せられていますので、一部ご紹介します。今後の事業取り組みの参考にして下さい。

～7月17日掲載 テーマ 「JAなす南のミョウガ」特集～

【ミョウガについて】

- ・ミョウガの魅力が紙面全体で紹介、PRすることでミョウガがますます食べたくなりました。よい企画だったと思います。
- ・JAなす南の方でミョウガを栽培しているのですね。雑学辞典で一つ賢くなった気分です。県内のことがわかり役に立っています。
- ・毎月各分野の生産者の方の野菜等、がんばっている姿を目にする事が出来、県内産の品物を手にしています。応援していきたいです。この季節のミョウガはおいしいですね。
- ・ミョウガは少しくせがあり香りが強いイメージしかありませんでした。今回の「肉巻揚げ」はみそを使っているので香りがよくおいしそうですね。これからも栃木の元気な野菜を紹介して下さい。

【JAの取り組みについて】

- ・身近な栃木の野菜のこと興味深く読んでいます。知らなかったことがたくさんあってうれしい記事です。これからもたのしみです。
- ・JAしもつけの津布楽さんのブドウ生産のご苦労が良く分かりました。これから一粒ごとに食べる時は感謝して食べなければと思いました。津布楽さんのご苦労の中に笑顔がとても素敵です。これからもがんばって下さい。
- ・栃木県産の旬の野菜を食する事で、夏バテしない健康な体になることができるとともに、地域農業の振興にも役立つという、自己を利することで他への協力にもなる、素晴らしい成果が生じます。
- ・紙面に出ている直売所を見て大変利用しています。
- ・新鮮でおいしいお米やミョウガ、ブドウと各自高品質の品物と、努力していることが分かります。皆様ががんばって下さい。

理事会だより

平成29年9月8日(金)に第7回理事会が開催されました。

(協議事項)

- (1) 平成29年度全中農協功労表彰候補者の推薦について(案)
表彰候補者が承認されました。

(報告事項)

- (1) 平成29年度第1回内部監査結果について
- (2) 平成29年度上期監事監査日程について
- (3) 協同組合・ユネスコ世界無形文化遺産登録記念事業の実施について
- (4) 「平成29年九州北部豪雨にかかるJAグループ栃木募金活動」の実施結果について
- (5) 平成29年度貸金等実態調査結果(概要)について
- (6) JA農産物直売所POPコンテストの審査結果について
- (7) 下野新聞JAプラザふぉーyou読者アンケート結果について

平成29年10月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部		電算企画運用部	電算開発部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン	経営ライン	教育ライン			
1 日									
2 月	経営会議		独占禁止法遵守担当者研修会		信用事業内部統制の確認(おのや) 信用事業内部統制の確認(佐野)				信用事業内部統制の確認(おのや) 信用事業内部統制の確認(佐野)
3 火									
4 水		TACアグリビジネススクール⑤				中核人材育成研修会②			
5 木				女性会役員・事務局合同会議		上級管理者研修会①			しもつけ期中監査1
6 金						上級研修①1班			
7 土									
8 日									
9 月									
10 火			市町農業再生協議会担当者会議						
11 水	理事会	JA営農農政担当部長会議	JA営農農政担当部長会議、日本農業実践地審査(日光管経C)		事業計画樹立・実践研修会	上級管理者研修会②			しもつけ期中監査1
12 木					専務総務会総会・経営実務部会				
13 金				広報担当者研修会	ES報告会(かみつが)	上級研修②2班			
14 土									
15 日									
16 月									
17 火			図画作文コンクール審査会(図画)		資産査定担当者研修会	資格認定特級試験			なすの期中監査1
18 水		JGAP指導員基礎研修会			企画管理担当部長会議	上級管理者研修会③			
19 木		営農指導員1級研修会① JAなすの青色申告勉強会③ 営農指導員1級研修会②			決算税務新任研修	中核人材育成研修会群馬との交流			
20 金									
21 土						資格認定初級試験			
22 日									
23 月					信用事業内部統制の確認(うのみや)				なすの期中監査1
24 火		JA栃木県青年大会				OJT研修会			信用事業内部統制の確認(うのみや)
25 水		JGAP指導員基礎研修会 30年度東奥農業施策要請会							
26 木		新規就農者研修会④ (農業簿記・税務①) 農業簿記研修会①			信用事業内部統制の確認(はが野)	中核人材育成研修会(視察研修)			信用事業内部統制の確認(はが野)
27 金									信用事業内部統制の確認(うのみや)
28 土			食と農のふれあいフェア						
29 日			図画作文コンクール審査会(作文)		信用事業内部統制の確認(はが野)				
30 月		営農指導員1級研修会③	女性会役員・事務局合同会議						信用事業内部統制の確認(はが野)
31 火		営農指導員1級研修会④			コンプラ役員研修(足利)	3県合同プロフェッショナル研修会			

平成29年11月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部		電算企画運用部	電算開発部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン	経営ライン	教育ライン			
1 水	監事監査	TACアグリビジネススクール⑥	農業ライン	くらしライン 北関東特別通信員会議	経営ライン	教育ライン 3県合同プロフェッショナル研修会			
2 木	経営会議								
3 金									
4 土									
5 日									
6 月	監事監査	営農指導1級研修会⑤							中間審査会
7 火									
8 水		農業簿記研修会②							
9 木		栃木県農業担い手推進大会			考課者訓練(なす南)				
10 金	理事会			広報トップセミナー					
11 土									
12 日									
13 月		野菜栽培概論講習会④							JAおやま期中監査
14 火			原木しいたけ担き普及啓蒙会議						
15 水	第2回経営担当者会議	営農指導員2級研修会①		広報・記事写真コンクール表彰式 下期特別通信員会議	企画管理担当部長会議	中堅職員研修会1班			
16 木		農業税務研修会① TACハワーアップ全国大会	JA営農農政担当部長会議						
17 金		JAなすの青色申告勉強会④							
18 土									
19 日									
20 月		営農指導1級研修会⑥							JAおやま期中監査
21 火		農業経営全国実践交流研究会	使農協適正処理推進研修会	家の光記事活用講座②					常勤監事会議
22 水	管理職会議	営農指導員2級研修会②		ファミズ実行委員会					
23 木									
24 金		農業税務研修会②							
25 土									
26 日		新規就農相談会(第4回)							
27 月									IT監査
28 火		新規就農者研修会⑤ (農業簿記・税務②)							IT監査
29 水		税務検討会			FP養成模擬試験	大卒採用面接試験			
30 木		営農指導員2級研修会③			決算税務新任研修				

第41回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

作文の部 金賞受賞作品

「炊飯器からの『おかえり』」

佐野市立田沼西中学校 3年 長島 萌さん

「ただいま。」誰からも返事がないのをわかっているけど、毎日玄関で私は声に出して言う。私の両親は共働きで、帰りがいつも遅い。私は一人で夕食を食べることがほとんどである。

私の「ただいま」にいつも応えてくれるのは、炊飯器からあふれてくる湯気だ。部活動に疲れて帰ってきた私を、いつも温かく迎えてくれる。おかずは作り置きだけど、ごはんだけはいつも炊きたてだ。私が夕食を食べるタイミングに合わせて炊けるよう、母がタイマーをセットしてくれている。おかずをレンジで温めてから、ごはんをよそおうと炊飯器を開けると、何とも言えないいい香りの湯気が私を包み込む。その湯気が、私に「おかえり」と言ってくれているようだ。

週末になると、母の仕事がないので、私は作りたての夕食を食べることができる。いつもの夕食に不満があるわけではないけれど、やはり作りたては最高に美味しい。家族そろって食べているから余計に美味しく感じるのかもしれない。週末はいつもはなかなか食べられない麺類が多くなるけれど、でもやはり私はごはんが好きだ。ほかほかの炊きたてごはんに作りたての美味しいおかず。ごはんをついつい食べ過ぎてしまう。

私に毎日「おかえり」をしてくれるごはんは、私の父方の祖父母が作ったお米だ。小さい頃は、よく種まきを手伝ったり、田植えや稲刈りの様子を見学しながら農水路で遊んだりしたものだ。

優しい祖父母は、何よりも私と妹を優先してくれる。遠くに住んでいるのに、習い事の発表会、運動会などの学校行事に毎回のように足を運んでくれる。泊まりに行くと喜んでくれて、一緒に遊んだり、行きたいところにつれて行ってくれたりと、とても大切にしている。

でもそんな祖父母も、もっと大切にしているものがある。それがお米である。泊まりに行ったときにも、一日に何回も水の調整に行く。学校行事と田植えが重なったときには、見に来てもらえないこともあった。それだけお米を作ることは大変なことなんだと思う。「生き物」を相手にしているのだから、当然のことだ。

私は、そんな風にして祖父母に大切に育てられたお米を毎日いただいている。お米一粒一粒に込められた祖父母の愛情や毎朝お米をといてくれる母の愛情も一緒に。ごはんにはたくさんの人の愛情が込められているから、一人で食べてもおいしいのだと思う。

今日も私は誰もいない家の玄関を開けながら「ただいま」と言うだろう。そんな私を炊飯器の湯気がこうやって迎えてくれるに違いない。「おかえり。今日も頑張ったね。たくさん食べて明日も頑張ろう。」



本物の
出会い
栃木

デスティネーションキャンペーン 2018 4/1~6/30

伝えたい ふるさとの魅力 本物の味

入場
無料

とちぎ 食と農 ふれあいフェア 2017



会場での
食し求を
お楽しみに!

青空ステージ
盛り上げます!

プスナビゲーター
永井 聖さん

メイン司会
とちぎ未来大使
小池 祥絵さん

日時 **10/28土 29日** 10:00~16:00
雨天決行 (荒天の場合中止あり)
※内容は予告なく変更する場合がございます。

場所 **栃木県庁**

クーちゃん 宝くじ

このイベントは宝くじの収益金の一部で実施されています。

- 青空食堂**
とちぎ和牛、なすひかり、にら、にっこり梨などの料理が集合
- 青空市場**
県内の新鮮な農産物などを直売
- とちぎのいい米 味わいコーナー**
栃木のブランド米3品種を食べ比べ
- ふるさと麺エリア**
そば、うどん、ちゃんぽんなど 栃木の麺が集合
- 食育フェア**
クイズやゲーム、体験を通じて食育について楽しく学ぼう
- その他**
＊シェラート販売 ＊郷土芸能ステージ ＊ジム選手権 ＊職業体験 など

青空ステージ

平野早矢香さん トークライブ
28土 11:00~
とちぎ未来大使
ロンドンオリンピック
卓球選手
銅メダリスト

とちまるくんお誕生会
28土 14:00~
各町町のマスコット
キャラクターも
大集合!

**青空ステージ
雷様剣士ダイジ
ヒーローショー**
29日 10:30~
©雷様剣士ダイジ制作委員会

Access Map

※ご来場の際は、**公共交通機関**をご利用ください。
なお、栃木県河内庁舎(駐車場)より無料のシャトルバス
を運行します。
※ゴミ減量のため、マイ箸・マイバッグの持参にご協力ください。

お問合せ
とちぎ「食と農」ふれあいフェア実行委員会事務局
TEL. 028-623-2333
イベント当日のお問合せ(28日、29日のみ)
携帯電話 080-3445-6574

主催：とちぎ「食と農」ふれあいフェア実行委員会
一社)栃木県農業会、二社)栃木県畜産同業組合連合会、三社)栃木県農協同業組合連合会、四社)栃木県果樹同業組合連合会、五社)栃木県畜産同業組合連合会、六社)栃木県畜産同業組合連合会、七社)栃木県畜産同業組合連合会、八社)栃木県畜産同業組合連合会、九社)栃木県畜産同業組合連合会、十社)栃木県畜産同業組合連合会

同日開催 **とちぎ食育推進大会2017** 10月28日(土)・29日(日)
栃木県伝統工芸品展2017 10月28日(土)・29日(日) 栃木県庁昭和館
宇都宮ウォーキングフェスタ2017 10月29日(日) 宇都宮市

JA自己改革一口メモ

～⑦規制改革推進会議について～

改正農協法の施行に加え、政府の規制改革推進会議が農協改革への圧力を強めています。

平成28年11月に規制改革推進会議は、「農協改革に関する意見」を示しました。それは次のような急進的で、JAの解体を図るような暴論でした。

- ①1年以内の全農の農産物委託販売廃止と全量買取販売への転換
- ②1年以内に全農の購買事業を資材調達の情報・ノウハウを提供するのみの新組織に転換
- ③3年後をめどに信用事業を営むJAを半減

これらの意見は、JAグループの反対運動などにより最終的に農業競争力強化プログラムには盛り込まれませんでした。しかし、「農協改革集中推進期間」は平成31年5月までであることが明確にされ、自己改革の進捗状況について、政府がフォローアップすることが明らかになりました。

今後も規制改革推進会議からは、組合員の利益を損なうような提言などがなされる可能性があります。それに対しJAグループは組合員の声を結集し、しっかりと主張していく必要があります。自己改革を着実に進めるとともに、「見える化」を図ることで組合員の皆さんからの評価を上げていきたいと思えます。

(JA栃木中央会)

